

2つの結婚が生み出した、 幸せのタイル

●幸せのタイルはイタリア出身

タイルたちは、イタリア・トスカーナ地方にある、フェレンツェ郊外の田舎町にある工房で手作りされています。この地域では昔から、テラコッタ製品が作られていて、テラコッタはとてもなじみの深い焼き物でした。そんなテラコッタの窯元へ、一人の女性がお嫁に来ます。彼女の名前はルチアナ。彼女の出身地は遠い昔、中世の頃にスペイン

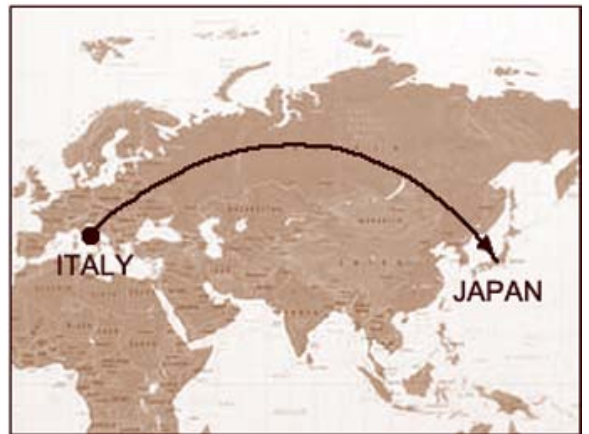


を征服したアラビア人たちの、陶器タイル製法が伝わるジェノバのはずれでした。その伝統技法を受け継いでいたルチアナがご主人の焼くテラコッタへ色付けを行って見たところ、テラコッタの土の温かみと鮮やかな色、愛らしい凹凸の表情を持つ、楽しいテラコッタ陶器が出来上がったのです。こうして、2つの文化が結びつき、1組の幸せな結婚がバルトックタイルを生み出しました。



●イタリアから日本へ

このバルトックタイルが日本へ来たのは、タイルの生みの親である建築家の息子ヤコポと日本人女性との出会いから始まります。父と同じく建築家の彼が優美な歴史背景を持つ日本を思い描きながら来日後まず考えたのは、現代日本の街並みにもかつての彩りを添えたいということ。街並みにずらりと並ぶ表札をみて、彼は、バルトックタイルの鮮明な色で、



通りを明るくしたいと思いバルトックタイル表札（イタリア職人の手作りタイル表札）を考案。今までにないカラフルな表札は徐々に広まっていき日本の街並を華やかに飾るようになりました。その後は、バルトックタイルの美しい色とオリジナルデザインが評判をよび、晴れやかな日本の結婚式の場でも用いられるようになります。このように、2つの幸せな物語が生み育てた「幸せのバルトックタイル」。それは人生の特別な瞬間が詰まった結婚式のウェディングボードにも最適です。

